

記者からの質問等（7件：約10分）

Q：YBS山梨放送

議案第50号南アルプスIC周辺高度活用計画検討委員会条例の制定について、この目的はどういうことを目指して設置するのか。

A：総合政策部長

南アルプスインターチェンジ周辺エリアの土地活用を実現するために検討委員会を設置する。検討委員15名で土地活用について検討していく。

Q：YBS山梨放送

土地活用を実現するためにと伺ったがどういう風になることをゴールとして狙っているのか。

A：総合政策部長

まちの玄関口という位置づけになっている。そのあたりも含め検討委員会の中で協議していく。

Q：YBS山梨放送

他の地域からそこを目指して人が南アルプスに入ってくるというような観光を含めた誘客ができればということを検討していくのか。

A：総合政策部長

そういうことも含めてということになる。

Q：YBS山梨放送

完熟農園の跡地周辺のところだと思うが、過去にうまくいかなかった経過がある。所信表明にあったように再開発の準備をしているということだが、市民は、また失敗するのではないかという懸念があると思う。そこをどのように考え取り組んでいくのか市長に伺いたい。

A：市長

完熟農園は、市の農産物を中心に県内外から誘客する目的で始めたが、計画が甘かった。今は、そうならないように進めている。南アルプス市は、人口も増えており、この傾向は続いていくと考えている。住宅ばかりではなく、いろいろな可能性について検討委員会で検討していく。

A：副市長

誤解のないようにしたい。50から60ヘクタールを全部開発するということではない。その規模のエリアの中でどんなことがまちづくりにとっていいのかを検討する段階である。企業誘致に適しているエリアや、住宅、農業、観光に適しているエリアがあるかもしれない。また、加えてその開発を市の予算でやるということではなく、例えば民間の開発もあるので、どの開発がいいのか検討

していきたい。市の予算だけでやることだけではない。何が一番いいのかをこれから検討するための検討会である。

Q：NHK甲府放送局

検討委員会の設置の時期と、具体的にはいつ頃方針案をまとめていくのか。

A：総合政策部長

条例として6月議会に提案している。その後、メンバーを選考して検討会を進めていく。今年度中に土地利用計画の方針を策定していきたい。

Q：NHK甲府放送局

6月議会で可決され次第、すぐに検討委員会を立ち上げて、来年3月までに案を示す予定か。また、3月に作った内容を継続していくのか。

A：総合政策部長

3月までに方針をまとめる。おそらく継続してやっていく。

Q：NHK甲府放送局

市民参加によるシティプロモーション事業は、公募のしめきりが近いと思うが、いつ頃アイデアが発表されて実行されるのか。また、どのくらい申込があるのか。

A：総合政策部長

6月20日前後に審査会を予定している。その後、決定され事業を実施していく。問い合わせが来ている団体は、10団体くらいである。

以上